

2006/10/06 19:00

□□□

□□□ 週刊 おりくらマガジン

□□

2006年10月6日発行

□

／ 【 オリентくらぶ <http://orikura.jp/> 】 2006/10/6

《《 目次 》》

01 セミナーご案内

02 今週の注目銘柄！！

03 今週の予想(金・ガソリン)

04 今週の予想(大豆・コーン)

05 商品ファンドのご案内

01 | セミナーのご案内

日時： 10月18日(水) 19:30 ~ 21:00

題名： 秋からの正解！ファンダメンタル分析実践塾

内容：価格の変動要因を自分でも分析できるようになりたい、営業マンに勧められるまま売買を行うのはもう卒業したい、もっと勝率を上げたいという投資家の皆さまにオススメのセミナーです。農産物商品と中心に、ファンダメンタル分析の基礎から、銘柄ごとに抑えておきたいポイント、秋からのオススメ銘柄までを詳しく解説致します。

URL

<https://www-home.orient-trade.co.jp/seminar/20061018/index.asp?link=om1006>

日時： 10月 25日(火) 19:30 ~ 21:00

題名： トレンド分析と建玉のポイント

内容：短期・中期トレンドの捉え方と相場に対してどのタイミングで建玉をすれば良いのか、また手仕舞いをすれば良いかを簡単に知る方法などをご紹介します。また、これから注目する銘柄のテクニカルポイントをご紹介します。

URL

<https://www-home.orient-trade.co.jp/seminar/20061025/index.asp?link=om1006>

日時 : 第1回 10月24日(火) 放送時間 : 各放送日の 18:30 ~ 19:00

第2回 10月31日(火) 放送時間 : 各放送日の 18:30 ~ 19:00

題名 : 浪漫飛行 リアルマネーコンテスト攻略セミナー

内容 : いよいよ来月 11 月 1 日より開催される「浪漫飛行リアルマネーコンテスト」の詳しい

ルールや浪漫飛行のワンポイントアドバイス等、リアルマネーコンテストを攻略するための情報をお届けします！

URL : <https://www-home.orient-trade.co.jp/seminar/200610rh/index.asp>

日時 : 2006 年 10 月 21 日(土) 13:00 ~ 16:30

題名 : EXCELで学ぶ『テクニカル分析&システム売買入門講座』 ~ 中級編 ~

内容 : 『EXCEL』を基礎から学びながら同時に『投資分析技術』も習得できる講座です。

EXCELはパソコンスクールインストラクターが担当し、投資技術は日本テクニカルアナリスト協会認定テクニカルアナリストがご説明します。

URL : <https://www-home.orient-trade.co.jp/kouenkai/oubo/view/index.asp?CD=9>

03 | ◎今週の注目銘柄！！

【東京アラビカ】は上値が重いながらも上昇トレンドか

東京アラビカは着実に下値を切り上げてきた。しかし 21,000 円台を突破する展開には繋がらない。21,630 円、21,530 円、21,590 円が戻り三尊天井になっている。しかし下値のほうも 18,580 円を最安値に 18,720 円、19,580 円と着実に切り上げているので、いずれ近い将来に 21,000 円台を突破する展開になりそうだ。10 日移動平均線が下値をサポートしているし、相対力指数も 50 ポイント台上有り、買いを示唆している。上放れれば 2,000 円幅を一気に上げる展開になりそうだ。

在庫や需給も面白い数字！！

国際コーヒー機関(ICO)のオソリオ事務局長は、世界のコーヒー在庫が約 3,500 万袋(1 袋 = 60 キロ)と、過去最低の水準にあると語った。2005-06 年度の減産が要因。輸出国が契約履行のため、消費国は増大する需要に対応するために在庫を取り崩した結果、世界のコーヒー在庫は 1 年前の 4,300 万-4,500 万袋から減少した。コーヒー相場は過去 1 年半、不安定な状態で、ロブスタ種は世界最大の生産国ベトナムが 05 - 06 年度に干ばつ被害を受けたことから供給が逼迫(ひっぱく)して、最近 7 年半ぶりの高値をつけている。

04 | ●今週の相場予想(金・ガソリン)

【金】今週のトレンド:[もみ合い](10/09)

米国株式市場ではNYダウが史上最高値を更新する一方、原油相場は急落して再び 60ドルを割り込んだ。この影響を受けて、海外のドル建て金価格は大幅安となって 600ドルを下回り、つれて国内の先物価格もストップ安を付けながら下げて 2,200円を割り込んでしまった。このところ言われていた商品市場の全般的な調整安の値動きと、それに伴う資金流出がより鮮明な形で出た。

しかし、最近の値動きが今後の金相場の方向性を大きく下向きに変える端緒になるとの見方は、まだ極めて少数派であろう。目先の展開で下げはしても、そこには押し目買いの手が伸びてくることになり、仮に、節目の 2,000 円へ向かう動きが出たとしても、中長期の見通しでは買い増しの好機でしかないだろう。買いのタイミングを的確に選んで対処したい。

《テクニカルで切る》

10月2日の 2,316 円を高値にして急反落の歩調をたどり、とうとう 2,200 円のラインも割り込んでしまった。これで、9月21日の安値 2,181 円が強く意識されることになり、5日にはここを大きく割り込んでしまった。移動平均線は相場の上側へ出たばかりで、RSIも中位から売りへ反転して間がない。ストップ安をつけながら急落しただけに、2,200 円割れによる自律的な反発も見込まれる。下げ止まって再び 2,200 円台へ戻すのか、2,100 円台で下値を探るのか、正念場を迎えた。

【ガソリン】今週のトレンド:[もみ合い](10/09)

国内の供給統計からは元売が在庫増加を受けて減産に踏み切っていることが窺えるものの、消費者の先安見込みからの買い控えなどもあって在庫は増加している。このため業転価格の下落が続いている状態である。

元売は業転価格の下落に歯止めをかけるため減産を強化し、在庫の適正化を図ると思われる。ただ、原油価格の下落を受けて11月も仕切り価格の引き下げを実施すると予想される。買いにくい状態で、下値低迷が続くことが予想される。そのため、戻り売りで対処となる。

《テクニカルで切る》

安値更新となった後、下げ修正を入れているという形状である。目先的にはギャップ埋めが見込まれるものの6万円を回復できずに下落してきたという点からすると戻りも限定的とみられる。

中勢線が下降トレンドを維持しているため上には抵抗があることが見込まれる。上げ波動への転換は戻り高値を突破して初めて確認されるものであり、底打ちと断定するには現段階では判然としない。静観が賢明と思われる。

05 | ●今週の予想(大豆・コーン)

【大豆】今週のトレンド:[やや弱気](10/09)

先月29日に米農務省から発表された9月1日時点の四半期在庫報告では、大豆の在庫が4億4,800万Buと、事前予想レンジ(4億6,000万-4億9,200万Bu)を下回った。05-06年度の作付面積と収穫面積が共に11万エーカー下方修正され、単収が0.3Bu下方修正されたことにより、生産量が2,320万Bu下方修正されたことが、予想を下回る在庫量の背景だと考えられる。ただ、在庫量は9月1日時点としては86年に次ぐ史上2番目の高水準であり、前年同期比で75%の大幅増加である。12日の需給報告で単収が上方修正される可能性が高いことを考慮すると、降雨により遅れている収穫作業が順調に進展している限り、下値を探る展開になりそうだ。ただし、市場の関心が南米ブラジルの作付け動向や、07-08年度の供給面に移ってくれば、ブラジル、米国ともに作付面積が大幅に減少するのではないかとの思惑から相場の基調が転換する可能性があるという点には注意したい。

《テクニカルで切る》

2月20日高値(3万6,900円)を起点とした長期下降トレンドが継続中。9日間移動平均線が26日間移動平均線を上抜いているため、相場が両移動平均の上方

に

位置している限り、上値抵抗帯(3万3,040-3万3,500円)を試す流れに変化はないと言える。ただ、9日間スローストキャスティクスが高水準でデッドクロスを形成し、14日間RSIが高水準で反落に転じていることから、目先は下値を探る展開になる可能性が高い。なお、仮に下値支持線(3万0,990円)を割り込んでくれば、心理的な節目である3万円水準までの下落も想定しておきたい。

--

【コーン】 今週のトレンド:[もみ合い](10/09)

先月29日に米農務省から発表された9月1日時点のコーン在庫は19億7,000万Buと

、事前予想平均(19億7,100万Bu)とほぼ同水準になり、前年同期比で7%の減少となった。在庫発表自体は、相場への影響はほとんどないと見られるが、05-06年度の期末在庫が9月需給報告から4,100万Bu下方修正された格好となっている。10月需給報告で生産高が下方修正されるとの見方や、エタノール向け需要の拡大見通し、さらには世界的な小麦減産懸念と合わせて考えると、将来的な需給逼迫懸念は根強く、コーン相場は下値を切り上げる展開が続くのではないかと。ただ、産地の天候回復により収穫が進展するようだと、一時的に下値試しとなる可能性もあるが、そこが押し目買いの好機になるのではないかと。

《テクニカルで切る》

三角保合い上放れからの上値目標である2万0,500円水準を達成したものの、そこで足踏み状態が続いている。年初来高値(2万0,870円)を更新してきたことで上値追いの展開となりそうであり、中期的には2004年高値(23,790円)を目指す展開となりそう。ただし、9日間スローストキャスティクスが高水準でデッドクロスを形成し、14日間RSIが高水準に達しているため、短期的に修正安となる可能性も。

	値段やチャートの確認はこちらから	
	http://www.orient-trade.co.jp/info/	

※当レポートは、情報提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。最終的な投資決定は、投資家ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

たします。



商品ファンド「天下三分の計」

★★2006年9月1日より 募集開始★★



～今、コモディティ(商品)のファンドに注目が集まっています

特長 1 コモディティ(商品)、株式、不動産に分散投資→「新・財産三分法」

特長 2 三資産とも「インデックス」運用

特長 3 毎月2回の追加、解約 & 50万円から購入可能！

のの詳細はこちらのの

→ http://fund.orient-trade.co.jp/info_t/index.asp



メールアドレスの変更・登録削除はこちら↓↓↓

<https://www-home.orient-trade.co.jp/oriclub/mailconfirm.html>

バックナンバーをご覧になりたい方はこちら↓↓↓

http://orikura.jp/magazine/back_number.html

「週刊 おりくらマガジン」

■発行人:オリエント貿易(株) オリエントくらぶ

■住所: 東京都新宿区西新宿5丁目3番2号

■TEL :0120-037-469

■E-Mail: ocmagazine@orient-trade.co.jp

■HomePage: <http://orikura.jp>

2006/10/06 19:00